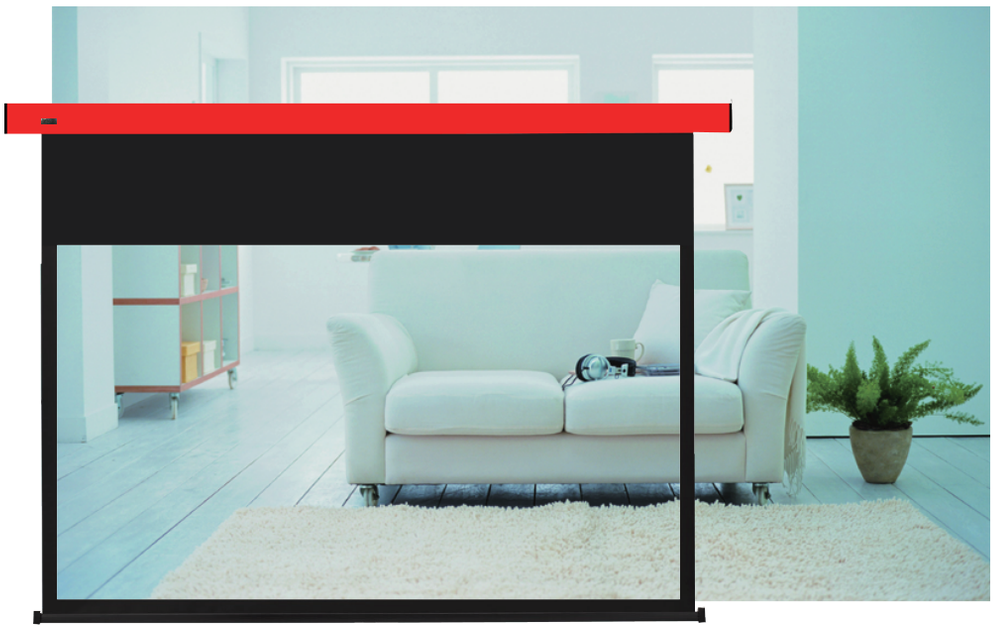
Stylist

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.



電動巻き上げサイレントタイプ（ＳＥＳ）
取り扱いおよび設置説明書

このたびはスタイリストスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱いおよび設置説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

安全上のご注意

◆ 下記のマークのある注意事項および、指示内容に関しては必ずお守りください。

必ずお読みください

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置のしかたを誤ったときに生じる危害や損害の程度により次の表示で区分し、説明しています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表しています。

⚠注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を表しています。

🛇禁止

この表示の欄は、してはいけない「禁止」の内容を表しています。

⚠

この表示の欄は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表しています。

❗

この表示の欄は、必ず実行していただきたい「厳守」の内容を表しています。

取り扱い上の不備または天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

目　　次

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・１

本機の特長・・・・・・・・・・・・・・・２

付属品及び各部の名称と働き・・・・３～４

各部の名称・仕様及び寸法図・・・・・・５

スクリーン規格一覧表・・・・・・・・・・６

スクリーンの取り付け方法・・・・・７～８

受光器などを接続する方法(SE)・・・・・９

スクリーンの使い方(SE)・・・・・・・・１０

電源や照明について・・・・・・・・・・１１

壁スイッチを接続する方法(オプション)１２

壁スイッチの取り付け方法・使い方・・・・１３
スクリーンの使い方(オプション)

スクリーン本体をとりはずす方法　・・・１４
スクリーンのテンションを調整する方法

スクリーンの停止位置を変える場合　・・１５

トラブル時の対処(SE)　・・・・・・・・１６

トラブル時の対処(オプション)　・・・・１７

スクリーン面の取り扱い方法　・・・・・１８

本機の特長

Colors

インテリアとして選ぶ “Stylist”

機能にデザインをプラスしたＫＩＫＵＣＨＩのコンセプトスクリーン “スタイリスト”

あなたの個性で、また、インテリアとのコーディネートで選べる、４色のケースバリエーション。シアターライフの楽しみが増えました。

Material

CHANTILLY WHITE

◎ ピークゲイン：0.95±5%
◎ 半値：85°

従来のホワイトマットアドバンスよりも、より白色にこだわり柔らかく優しい色合いを再現。４Ｋ８Ｋ解像度にも対応し、映画鑑賞はもちろん長時間の視聴にも疲れないホワイトマットです。
※ホームシアター用製品のみ対応

WHITE MATTE ADVANCE

◎ ピークゲイン：0.85±5%
◎ 半値：85°

表面処理に新開発の「ウルトラマイクロ・シボ」を採用しています。優れた解像度と黒からハイライトまでのコントラスト、豊かな色階調を再現。きめ細かく立体感にあふれた映像、自然な色彩表現をハイレベルに調和しています。迷光を抑えた暗室ではクリアで奥ゆきのある高品質な映像を再現します。

SORBETY GLASS

◎ ピークゲイン：1.45±5%
◎ 半値：40°

スクリーンの表面に特殊な調合が施された超微粒子ガラスビーズが均一に塗布されています。従来の特徴でもある「明るく切れのある画像」を継承しながらも、暗室環境では華やかで彩りある映像美、薄明りが残るリビングシアターではバランスの取れたコントラストで外光に負けないしっかりとした映像を楽しむことが出来ます。
※ホームシアター用製品のみ対応

Flexibility

・取り付け位置を選ばない自由度の高いスライド方式の採用により、イージーインストールを可能にしました。

・今まで気になっていたスクリーン下面のシワを調整ボルトを回すことで容易に解消させるテンションフィッティング機構。スクリーンの平面性がいつもベストコンディションに維持できます。（シワの性質によってはとりきれない場合もあります。）

・フロントケースの脱着が容易なスリーピーススプリットケースの採用により、スクリーン生地を交換する場合にはローラーごと取り替えが可能となりました。強度に優れたリアケースのみでの取り付けも容易に行えます。

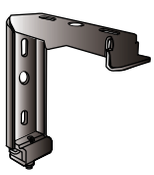
・左側面のケースキャップに電源コードと受光部ユニットを差し込むだけで簡単に赤外線ワイヤレスリモコンでの操作が可能です。

・受光部ユニットのコード長は300mmありますので、この範囲内での設置が自由自在。

付属品

取り付けの前に、下記の付属品が入っているかを確認してください。

警告　下記設置部品以外での取り付けはおやめください。
取り付け時の不備による脱落の恐れがあります。

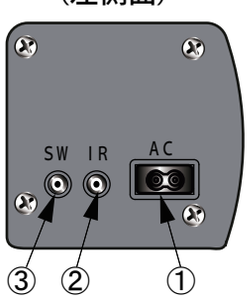
SES用付属品	壁スイッチ使用時(オプション)付属品
赤外線リモコン・・1個 リチウム式コイン型電池 (CR2032) ・・・・２個	壁スイッチ・・１個
外付赤外線受光器(300mm) ・・・・１台	４ピンプラグ付ケーブル (300mm)・・１台
両面テープ(予備)・・・・・・１枚	
共 通 部 品	
セッティングブラケットセット・・２個 	トラスタッピングネジ・・・・・４本 (M4×50mm) ×４本
六角レンチ ・１本	取り扱いおよび設置説明書・・・・・・１冊
	電源コード(スクリーン専用品2m)・１本 ※電源コードは、スクリーン専用品です。

各部の名称と働き

1．スクリーン本体コントロール部

スクリーン本体の左側にはコントロール部が内蔵されています。

(左側面)

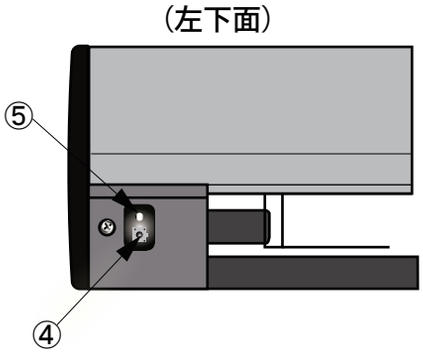


① 電源コード用コネクター
付属の電源コード(スクリーン専用品AC100V用)のコネクターを差し込んで使用します。

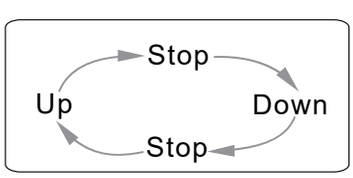
② 外付赤外線受光器用コネクター
本体コントロール部と外付赤外線受光器を、ミニピンプラグコードで接続するときに使います。９ページをご覧ください。

③ 外付24V制御スイッチ用コネクター
24V制御スイッチをワイヤード仕様でお使いになるときに接続します。(シールをはがしてお使いください。)赤外線リモコンをご使用の場合は、使用しません。１２ページをご覧ください。

(左下面)

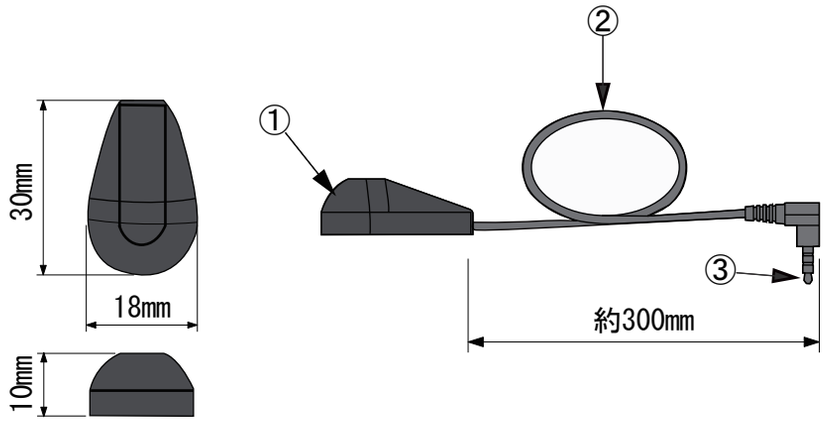


④ マニュアルスイッチ
赤外線リモコンが使えない場合(紛失または電池切れなど)に使用するスイッチです。ボタンを押すと下記のような順で動作します。



⑤ 動作表示ランプ
赤色　スタンバイ
緑色　動作中

2．外付赤外線受光器

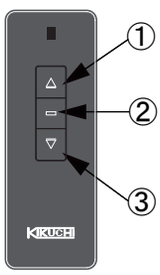


① 赤外線受光部

② ミニピンプラグコード

③ ミニピンプラグ

3．赤外線リモコン



① ▲ UP(上昇)ボタン
スクリーンが上昇し、ケース内に収納され停止します。

② ━ STOP(停止)ボタン
スクリーンを任意の位置で停止させるときに使います。

③ ▼ DOWN(下降)ボタン
スクリーンが下降し、設定された位置まで下がり、停止します。
(停止位置の設定については １５ページをご覧ください。)

⚠ 注意　操作中に昇降の動作を逆にするときは、必ずSTOPボタンを押して一旦停止させた後に行ってください。

電池の入れ方

1. 裏ぶたを押して矢印の方向にスライドさせて開けます。

2. 電池を両方とも⊕が見えるように入れます。

リチウム式
コイン型電池
×2個
(CR2032)

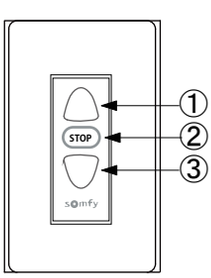
3. 裏ぶたを矢印の方向に“カチッ”と音がするまでスライドさせて閉めます。

電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂をすることがあります。次の点にご注意ください。

⚠ 注意

- 使用期限内(電池に記載)の電池を使用してください。
- ⊕⊖の向きを表示どおり入れてください。
- 電池を入れたまま長時間放置しないでください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は充電しないでください。
- ショートさせたり分解しないでください。
- 使用後、可熱ゴミに混ぜたり、燃やしたりしないでください。

4．壁スイッチ(オプション)



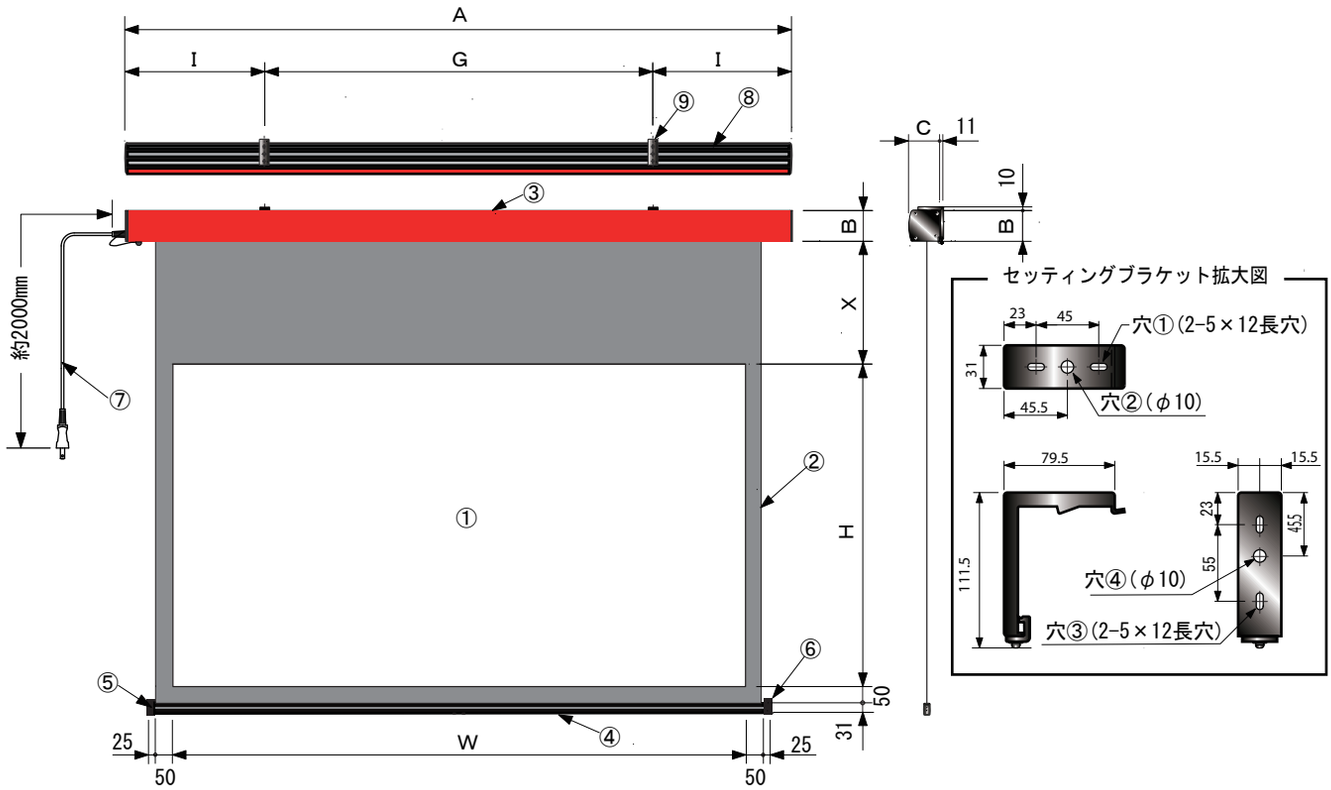
① ⌓ＵＰ(上昇)ボタン
スクリーンが上昇し、ケース内に収納され停止します。

② STOP ＳＴＯＰ(停止)ボタン
スクリーンを任意の位置で停止させるときに使います。

③ ▽ＤＯＷＮ(下降)ボタン
スクリーンが下降し、設定された位置まで下がり、停止します。
(停止位置の設定については１５ページをご覧ください。)

⚠ 注意　操作中に昇降の動作を逆にするときは、必ずＳＴＯＰボタンを押して一旦停止させた後に行ってください。

各部の名称・仕様および寸法図



名称						
	①	スクリーン	④	ボトムバー	⑦	電源コード
	②	マスク	⑤	ボトムキャップ	⑧	リアケース
	③	フロントケース	⑥	ボトムキャップクッション	⑨	セッティングブラケット

天井埋め込みＢＯＸ参考寸法(内寸法)

※天井埋め込みＢＯＸはお客様側でご用意ください。

(寸法：mm)

天井埋め込みＢＯＸ内寸					
ＮＴＳＣタイプ		ハイビジョンタイプ		WXGAタイプ	
D	E　F	D	E　F	D	E　F
80	2200×141×126	80HD	2300×141×126	80WX	2300×141×126
100	2600×141×126	90HD	2500×141×126	100WX	2700×141×126
120	3000×141×126	100HD	2700×141×126	120WX	3200×141×126
		110HD	3000×141×126		
		120HD	3200×141×126		

⚠ 天井埋め込みボックスやカーテンボックスに取り付けする場合は、ボックス内面の高さおよび奥行を最低でも141mm(高さ)×126mm(奥行)以上のものをご用意してください。この寸法より小さいボックスの場合には、スクリーン本体を取り付けすることはできません。
(取り付け方法の詳細については７ページを参照ください。)

スクリーン規格一覧表

ＮＴＳＣタイプ（４：３）

（寸法：mm）

型　番	スクリーンサイズ		上黒	ケース寸法	取り付け穴推奨ピッチ	I寸法	重量	消費電力
	W	H	X	A×B×C	G	各々	(Kg)	(W)
SES-80	1626	1219	500	1915×95×96	1500	207.5	10.0	85
SES-100	2032	1524	500	2321×95×96	1900	210.5	12.2	85
SES-120	2438	1829	500	2727×95×96	2300	213.5	14.5	85

ハイビジョンタイプ（１６：９）

型　番	スクリーンサイズ		上黒	ケース寸法	取り付け穴推奨ピッチ	I寸法	重量	消費電力
	W	H	X	A×B×C	G	各々	(Kg)	(W)
SES-80HD	1771	996	500	2060×95×96	1500	280	10.6	85
SES-90HD	1992	1121	500	2281×95×96	1700	290.5	11.6	85
SES-100HD	2214	1245	400	2503×95×96	1900	301.5	12.6	85
SES-110HD	2435	1370	500	2724×95×96	2100	312	14.2	85
SES-120HD	2656	1494	500	2945×95×96	2300	322.5	15.7	85

ＷＸＧＡタイプ（１６：１０）

型　番	スクリーンサイズ		上黒	ケース寸法	取り付け穴推奨ピッチ	I寸法	重量	消費電力
	W	H	X	A×B×C	G	各々	(Kg)	(W)
SES-80WX	1723	1077	500	2012×95×96	1500	256	10.6	85
SES-100WX	2154	1346	500	2443×95×96	1900	271.5	12.6	85
SES-120WX	2585	1615	500	2874×95×96	2300	287	15.7	85

※取り付け穴ピッチは推奨の位置です。任意で移動することができます。
※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

スクリーンの取り付け方法

警告

◆スクリーンを設置する壁や天井は、100kg以上支えられる強度が必要です。
また石こうボードやパーチクルボードなどの場合は、下地の補強が必要です。
強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。
◆補強が不足している面に取り付けすると脱落する恐れがあります。

注意

◆天井取り付けに際し、下記の方法はおやめください。

禁止
・ボードアンカーのみによる施工
・ＡＬＣアンカーによる吊り下げ
・天井裏Ｍバーへ直接重荷をかけ

◆壁取り付けに際し、下記の方法はおやめください。

禁止
・ボードアンカーのみによる施工
・補強下地無しの施工

天井埋め込みボックスやカーテンボックスに取り付けする場合は、ボックス内面の高さおよび奥行を最低でも141㎜(高さ)×126㎜(奥行)以上のものをご用意してください。この寸法より小さいボックスの場合には、スクリーン本体を取り付けすることはできません。

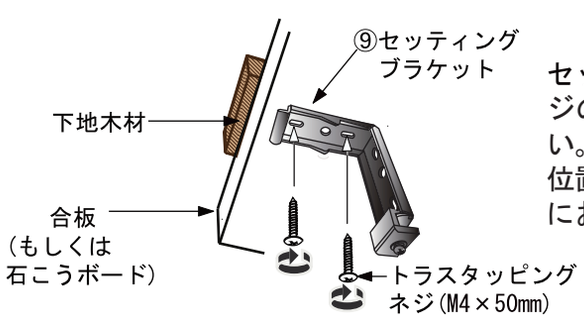
合板の天井または壁に設置する場合

注意　合板は、少なくとも20㎜以上の厚さが必要となります。

■取り付け場所の確認
本機は天井または壁に取り付けすることが可能ですが、あらかじめ取り付けをする場所に下地の木材が通っているか機器(※)などで確認してください。
(※)推奨機器：パナソニック電工(株)「壁うらセンサー」など

１．天井にセッティングブラケットを取り付けする場合

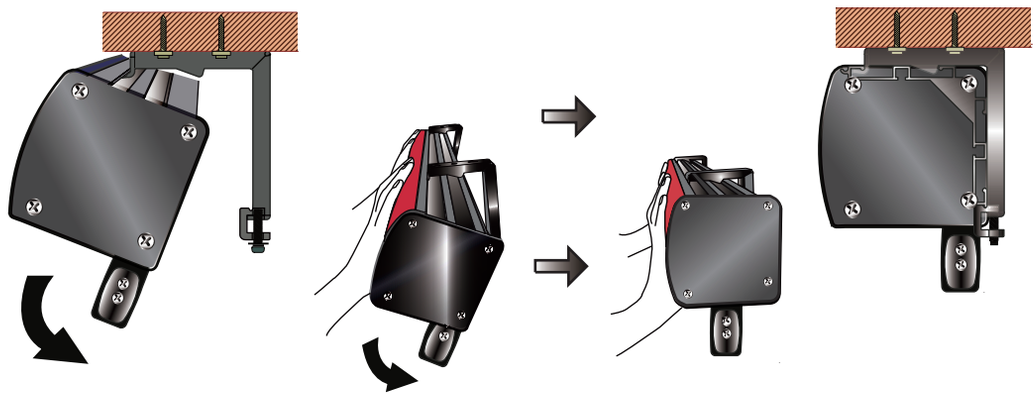
１－１　セッティングブラケット⑨をトラスタッピングネジ(M4×50㎜)で穴①を使って天井にプラスドライバーで取り付けしてください。



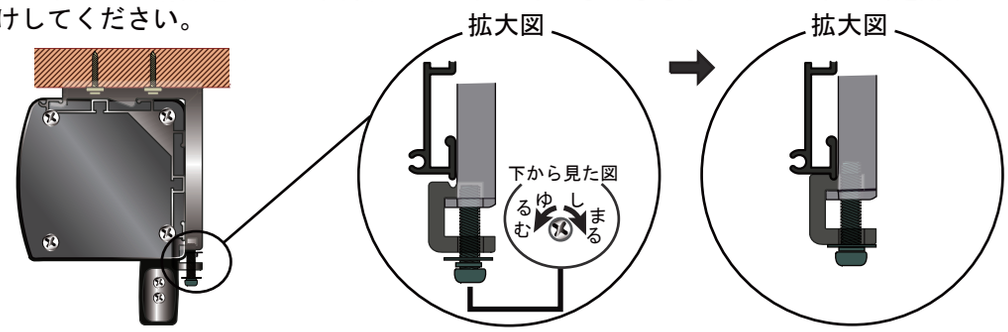
セッティングブラケット⑨の２ヶ所の間隔は６ページの「取り付け穴推奨ピッチＧ」を参照してください。また「Ｉ寸法」は、ケースの端部から取り付け位置を設定するときの寸法値です。範囲内の数値におさまるようにして取り付けしてください。

注意　セッティングブラケットは、スケールやレーザーポインター等の道具で位置を決定し、必ずそれぞれが平行になるように取り付けしてください。セッティングブラケットの平行が取れていないとスクリーンを取り付けできない場合があります。

１－２　セッティングブラケット⑨の先端にリアケース⑧の天井面の前側の溝部を合わせ差し込んでください。完全に差し込みが完了したことを確認したらケース全体を後ろに「ガチャッ」と音がするまで押し込んでください。ブラケットストッパーを完全に固定した状態ではないので、スクリーン本体にガタツキがあります。



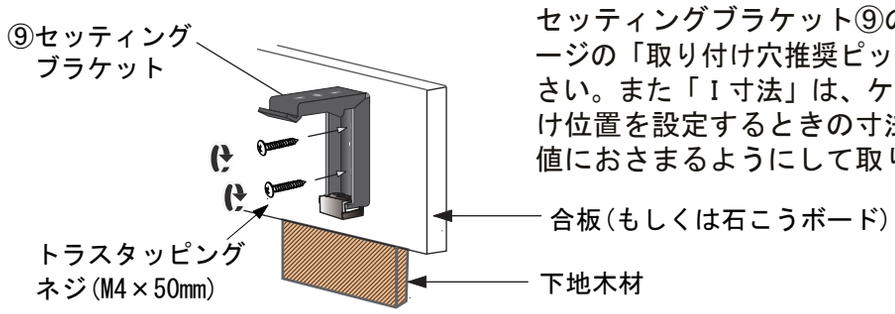
１－３　押し込みが完了したら軽くフロントケースを押し付けながらリアケース下面の突起とブラケットストッパーの溝部をしっかり合わせ、ガタツキがなくなるまでしっかりと固定用ネジで締め付けしてください。



⚠ 注意	・ セッティングブラケットにスクリーン本体を取り付けするときには、必ず２名で行ってください。１人で作業を行うとスクリーン本体の落下、作業者の転倒や転落などの恐れがあります。 ・ ケース溝部への差し込みやブラケットストッパーの締め付けは確実に行ってください。不十分な状態で取り付けが完了した場合は、後日スクリーン本体の落下によって人的障害が発生する恐れがあります。

2. 壁にセッティングブラケットを取り付けする場合

２－１　セッティングブラケット⑨を付属のトラスタッピングネジ(M4×50㎜)で穴③を使って壁にプラスドライバーで取り付けしてください。



セッティングブラケット⑨の２ヶ所の間隔は６ページの「取り付け穴推奨ピッチＧ」を参照してください。また「Ｉ寸法」は、ケースの端部から取り付け位置を設定するときの寸法値です。範囲内の数値におさまるようにして取り付けしてください。

２－２　１－２の手順で取り付けしてください。

２－３　１－３の手順でしっかりと締め付けしてください。

受光器などを接続する方法(SES)

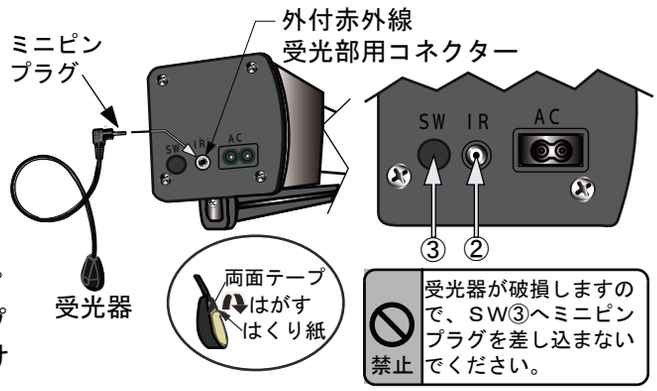
接続をする前に：

・スクリーン本体コントロール部の電源を切った状態であることを必ず確認してください。

◆ 外付赤外線受光器を接続する。
左側面にある外付赤外線受光器用コネクター(右図②)へ受光器のミニピンプラグを差し込み接続してください。

・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は誤動作の原因となります。抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。

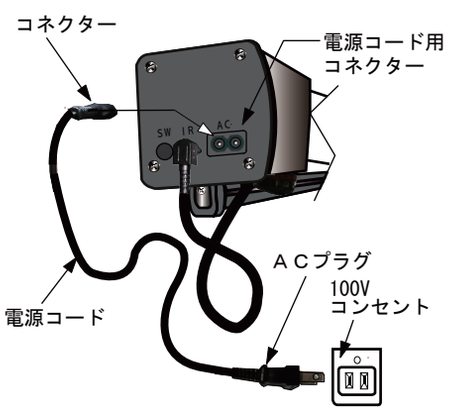
◆ 受光器を貼り付けする。
受光器の裏面に貼り付けしてある両面テープのはくり紙のみをはずして、ご希望の位置(プラグコードの範囲で)へ強めに押して貼り付けしてください。



注意	・ あらかじめ貼り付けする場所の汚れ・水分・油分などをしっかり拭き取ってください。 ・ 受信感度の低下や誤動作の恐れがありますので、直射日光の当たらない場所を選んで貼り付けしてください。 ・ 表面に大きな凸凹などがある場所には貼り付け出来ない場合もあります。 ・ プラグコードの長さは300mmとなっていますので無理に引っ張って貼り付けしないでください。 ・ 両面テープの粘着力が弱くなりましたら、付属の両面テープと交換してください。

◆ 電源コードを接続する。
右図のように電源コード用コネクターへ電源コード(スクリーン専用品AC100V用)のコネクターを差し込み接続してください。

禁止	・ミニピンプラグの差し込みは、必ずＡＣプラグをコンセントに差し込む前に実施してください。電源がＯＮの状態で抜き差しすると誤動作する恐れがあります。 ・電源コードに物を強くぶつけたり火気類を近づけないでください。コードの破損によって火災や感電などの恐れがあります。



※電源コードは、スクリーン専用品です。

警告

1. 長時間ご使用にならないとき(外出や旅行など)は、安全のためにＡＣプラグをコンセントから抜いてください。

2. ＡＣプラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手でＡＣプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

3. ＡＣプラグにほこりがたまらないように、定期的に掃除をしてください。ＡＣプラグとコンセントとの間にホコリがたまると火災の原因となります。

スクリーンの使い方(SES)

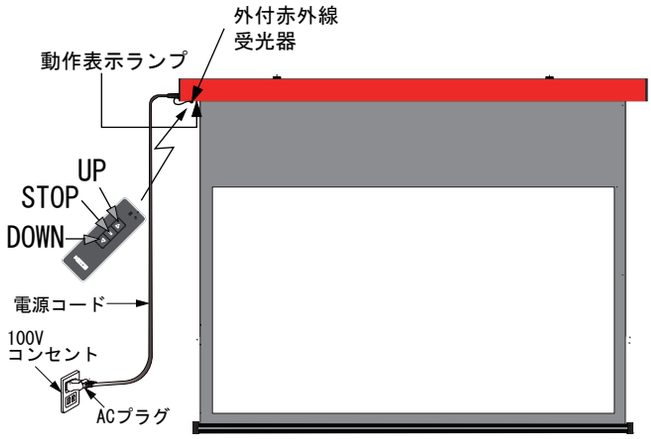
付属の赤外線リモコンを使って操作する。

お使いになる前に

・外付赤外線受光器と本体コントロール部が接続されていることを確認してからＡＣプラグをコンセントに差し込んでください。

・赤外線リモコンにリチウム式コイン型電池((CR2032)×２個）が入っているか確認してください。

・ＡＣプラグを差し込んだあとにケース左の下面にある動作表示ランプ(３ページ、１－⑤)が赤色(スタンバイ表示)に点灯しているか確認してください。



※電源コードは、スクリーン専用品です。

1. 赤外線リモコンを受光部に向けて操作する。

１－１　スクリーンを使うとき
赤外線リモコンの ▼「ＤＯＷＮ」ボタンを押してください。スクリーンが設定された位置まで下り停止します。

１－２　スクリーンを使い終わったら
赤外線リモコンの ▲「ＵＰ」ボタンを押してください。スクリーンが収納され停止します。

１－３　スクリーンを停止させるとき
スクリーンを任意の位置で止めるときや緊急に止めたいときは「ＳＴＯＰ」ボタンを押してください。ボタンを押した位置で停止します。

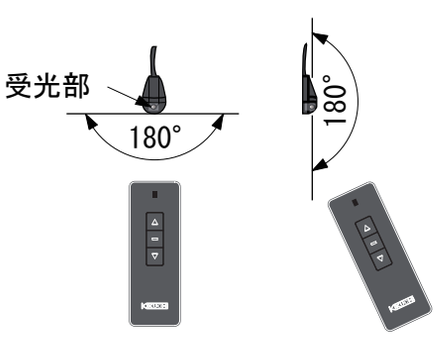
動作中に、異常な音や臭いがする場合や、結露など不測の要因で本体に水が入った場合はすぐに使用を中止し、電源コードのＡＣプラグを抜いてください。中止後はただちにお買い上げ店にご相談ください。そのまま使用しますと火災や故障の原因となります。

注意

・ スクリーン表面保護のため、ご使用後は必ずスクリーンを収納してください。その際に虫などが付着していないことを必ず確認してください。
・ スクリーンの停止位置を変える場合(１５ページ)は、お買い上げ店、または施工業者に相談ください。
・ 長時間スクリーンを使用しない場合は、電源コードのＡＣプラグをコンセントから抜いておいてください。

2. 赤外線リモコンの操作範囲

赤外線リモコンの操作範囲は、受光部の中心に対して水平180°、垂直180°以内となっています。必ず範囲内にてご使用ください。これ以外の角度では動作しない場合があります。操作距離は障害物のない直線上で最大8mです。

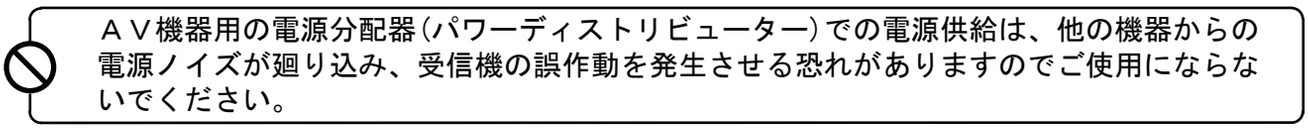


（水平）　（垂直）

電源や照明について

１．電源(AC100V)

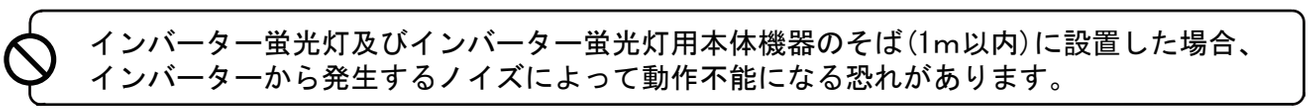
電源(AC100V)は、壁面のコンセントや天井にあらかじめ配線された単独の電源をご使用ください。



ＡＶ機器用の電源分配器(パワーディストリビューター)での電源供給は、他の機器からの電源ノイズが廻り込み、受信機の誤作動を発生させる恐れがありますのでご使用にならないでください。

２．照明

２－１.スクリーン本体を取り付けする場合は、天井の照明(特にインバーター蛍光灯)から1m以上離してください。



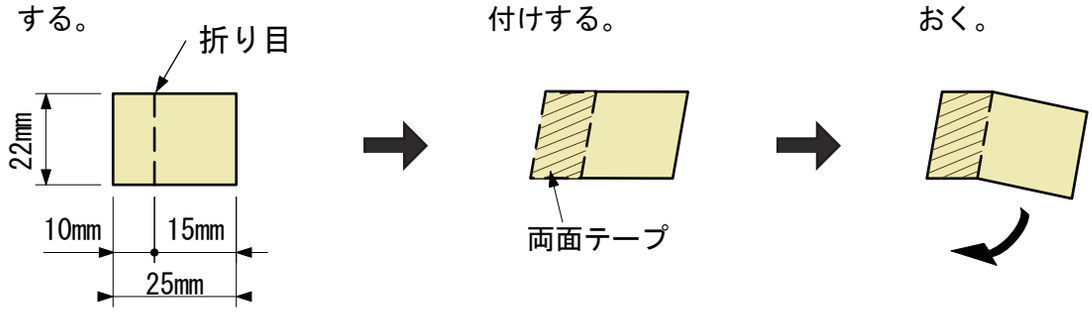
インバーター蛍光灯及びインバーター蛍光灯用本体機器のそば(1m以内)に設置した場合、インバーターから発生するノイズによって動作不能になる恐れがあります。

２－２.スペースの関係上1m以上の距離が取れずに取り付けする場合は、下記に指すような「遮へい板」を作って貼り付けしてください。

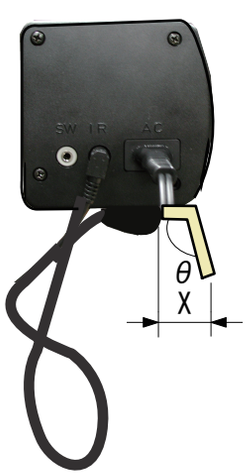
① ボール紙(事務用)を下の寸法にカットする。

② 折り目の巾の狭い方に両面テープを貼り付けする。

③ 折り目に沿ってある程度下へ折り曲げておく。

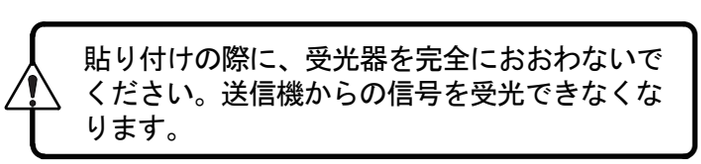


④ 受光器の前に貼り付けし角度を調整する。



θ(角度)＝130～145°
X　　＝20～23mm

（イメージ図）



貼り付けの際に、受光器を完全におおわないでください。送信機からの信号を受光できなくなります。

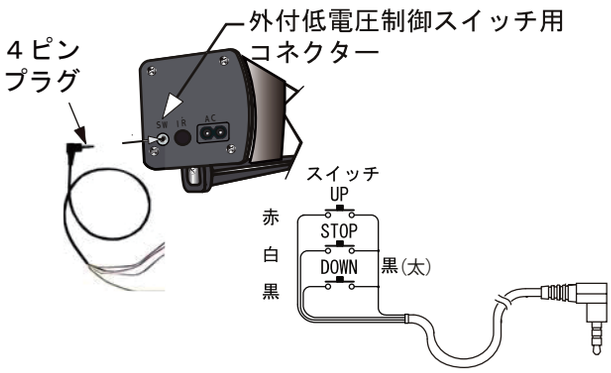
壁スイッチを接続する方法(オプション)

接続をする前に：

・スクリーン本体コントロール部の電源を切った状態であることを必ず確認してください。

① ４ピンプラグ付ケーブルを接続する。
左側面にある外付低電圧制御スイッチ用コネクター(３ページ、１－③)へ４ピンプラグを差し込み接続してください。

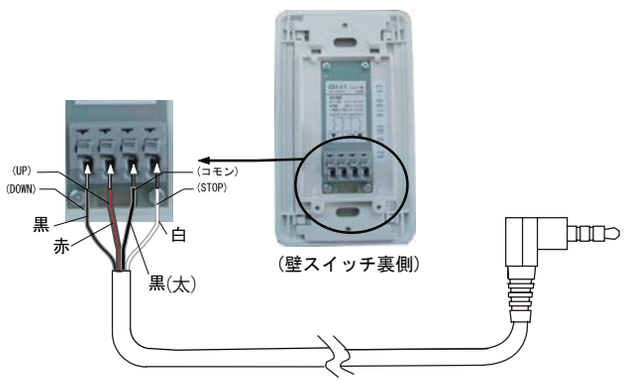
・プラグはしっかり差し込んでください。
不完全な接続は誤動作の原因となります。
抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



② ４ピンプラグ付ケーブルと壁スイッチを接続してください。
下図のようにケーブルとスイッチを接続してください。

③－１
接続線脱着ボタン(灰色の突起物)を細いマイナスドライバーなどの先で下へ押しつけてください。

③－２
押しつけた下側の線差し込み口へ結線図で指定された線を差し込みボタンからマイナスドライバーをはなします。軽く線をつまんで引っ張り線が抜けないことを確認します。抜ける場合は、ボタンの押し方や、線の差し込み方が不足しているのでもう一度、同じ動作を繰り返してください。



③－３
残りの３つの線も同様に接続してください。

・ 接続線脱着ボタンは下へ確実に押しつけてください。押しつけ方が不十分ですと、下の差し込み口に線が入らず正しく接続できません。
・ 差し込み口へは、線を確実に差し込んでください。
・ 確実に差し込まれていないと正しく動作しない恐れがあります。

＊ 中間ケーブル（推奨：VCTF 0.75 4芯）は、別途ご用意ください。

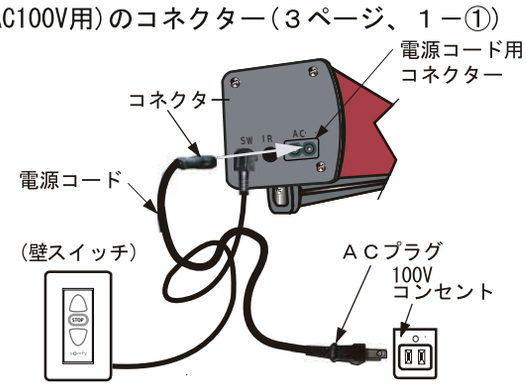
線色を合わせて、確実に絶縁圧着端子等で結線してください。

圧着が不十分ですと、動作しない事がありますのでご注意ください。

③ 電源コードを接続する。
スクリーン本体の左側面にある電源コード(スクリーン専用品AC100V用)のコネクター(３ページ、１－①)へ電源コードのＡＣプラグを差し込み接続してください。

禁止

・壁スイッチの接続が完了しているか確認してから電源コードを接続してください。電源がＯＮの状態で抜き差しすると誤動作する恐れがあります。
・電源コードに物を強くぶつけたり火気類を近づけないでください。コードの破損によって火災や感電などの恐れがあります。



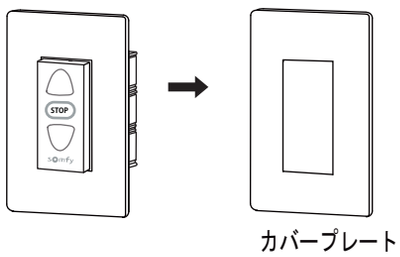
※電源コードは、スクリーン専用品です。

壁スイッチの取り付け方法（オプション）

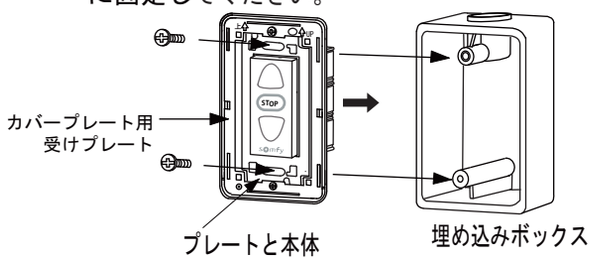
あらかじめ取り付けされている壁面の埋め込みボックスに壁スイッチを取り付けしてください。
※ボックスは別途ご用意ください。

＜作業手順＞

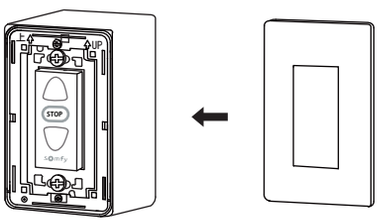
1. カバープレートを取りはずしてください。



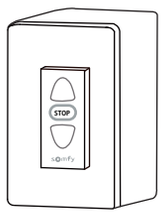
2. 埋め込みボックスに取り付けされているビスを取りはずし、スイッチ本体が取り付けされているプレートの上下の横長穴を利用して埋め込みボックスのネジ部に固定してください。



3. カバープレートを取り付けしてください。



4. 取り付け完了



埋め込みボックスの種類によっては、ボックス側にカバープレート用受けプレート部があらかじめ取り付けされています。この場合は、スイッチ側のカバープレート用の受けプレートは取りはずしてご使用ください。

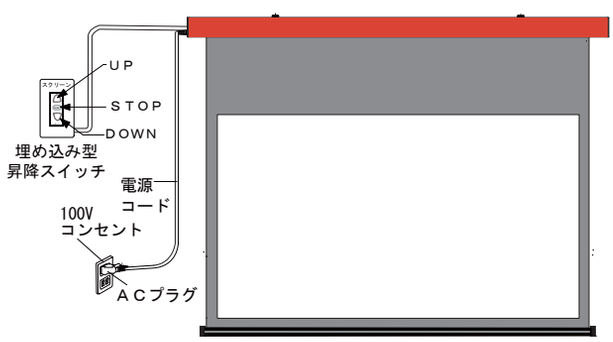
スクリーンの使い方（壁スイッチ使用時（オプション））

お使いになる前に：

- ４ピンプラグ付きケーブルと本体コントロール部が接続されていることを確認してから電源コードのＡＣプラグをコンセントに差し込んでください。
- 電源コードのＡＣプラグを差し込んだあとに左ケース下面にある動作表示ランプ（３ページ、１－⑤）が赤色（スタンバイ表示）に点灯しているか確認してください。

スクリーンを使うとき

- ▽ＤＯＷＮ（下降）ボタンを押してください。設定された位置まで下がり停止します。
- スクリーンを任意の位置で停止させるとき、もしくは緊急に止めたいときは、ＳＴＯＰボタンを押してください。
- 使い終わりましたら、△ＵＰ（上昇）ボタンを押してください。スクリーンがケース内に収納され、停止します。



※電源コードは、スクリーン専用品です。

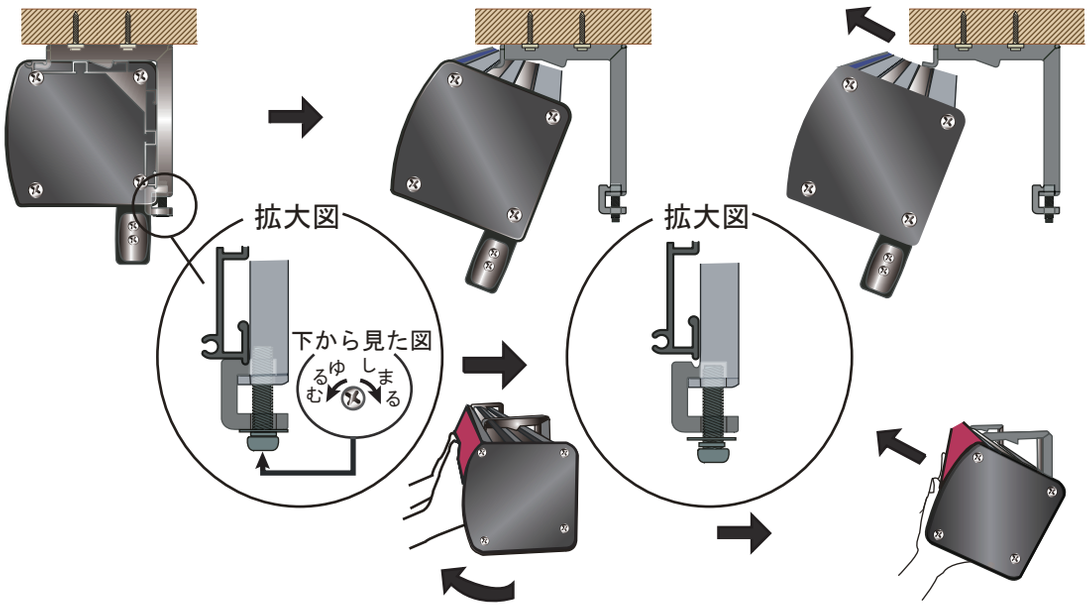
動作中に、異常な音や臭いがする場合や、結露など不測の要因で本体に水が入った場合はすぐに使用を中止し、電源コードのＡＣプラグを抜いてください。中止後はただちにお買い上げ店にご相談ください。そのまま使用しますと火災や故障の原因となります。

注意

- スクリーンの昇降動作を切り替えるときは、必ずＳＴＯＰボタンを押してから、ＵＰ（上昇）ボタンまたはＤＯＷＮ（下降）ボタンを押して操作してください。
- スクリーン表面保護のため、ご使用後は必ずスクリーンを巻き戻すようにしてください。その際に虫等が付着していない事を必ず確認してください。
- スクリーンの停止位置を変える場合（１５ページ）は、お買い上げ店、または施工業者にご相談ください。
- 長時間スクリーンを使用しない場合は、電源コードのＡＣプラグをコンセントから抜いておいてください。

スクリーン本体をとりはずす方法

セッティングブラケット⑨の固定用ネジ(M4×20mm)をプラスドライバーでスクリーン本体が軽く前後にガタツクまでゆるめてください。リアケース⑧の背面の下部とフロントケース③をしっかり握り、手前に引いてブラケットストッパーからリアケース⑧の下面の突起をはずします。しっかりと待ったまま斜め上にスクリーン本体を引き上げてリアケース⑧の天井面の前部の溝部をセッティングブラケット⑨の先端から抜きます。

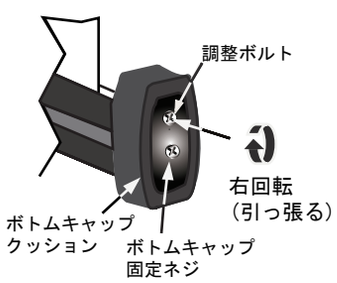


注意	・ セッティングブラケットからスクリーン本体を取りはずすときには、必ず２人で行ってください。１人で作業を行うとスクリーン本体の落下、作業者の転倒や転落などの恐れがあります。 ・ ブラケットストッパーからリアケース下面の突起がはずれたときに、スクリーン本体から手をはなさないでください。スクリーン本体の落下によって人的障害や物的障害が発生する恐れがあります。

スクリーンのテンションを調整する方法

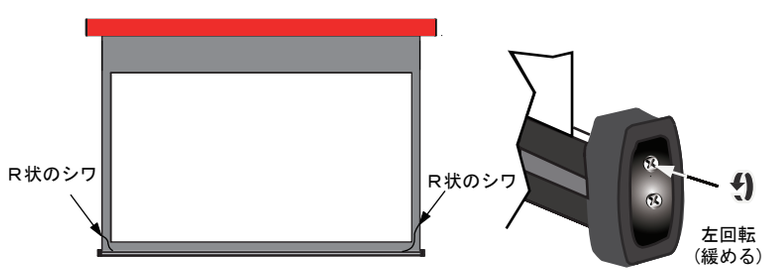
スクリーン下面は、工場での出荷検査のときに平面調整(左右の調整ボルト共に約３回転)を完了しておりますが、お使いになっているうちにシワが発生した場合は以下の手順で調整してください。

１．調整ボルトをプラスドライバーで右回転させて、スクリーンの下面にテンションをかけます。ボルトを１回転させると約0.5mm外側へスクリーンが引っ張られます。スクリーン下面のシワの状態を見ながら行ってください。この場合、最大で０．５回転から１回転の間で調整を終らせてください。これ以上回転させた場合２項のような症状になりますので、十分にスクリーンの状態を見ながら行ってください。



禁止	調整ボルトを回転させるときは必ず左右同じ回数で行ってください。片側だけ回転させますと、かえってシワを発生させてしまい、外観を損ねる恐れがあります。
	調整ボルトの最大回転数は、出荷調整済の３回転を含めて左右共に４回転が限度です。

２．テンションをかけすぎた場合、スクリーン下面の端にＲ状のシワが発生する場合があります。
この場合は、左回転させてＲ状のシワの状態を見ながらテンションを緩めてください。



注意	・ テンションを掛けすぎたときは、調整ボルトを左回転させて一旦テンションを緩め２～３日放置してください。再度スクリーンの状態を見ながらテンションの調整をしてください。 ・ シワの性質によっては、完全に取り切れない場合もありますのでご了承ください。

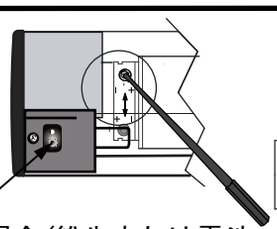
スクリーン停止位置の変更(リミッター調整)

スクリーンの上部マスク巾(有効画面上部よりケース下面間)は約250mmに設定されていますが(工場出荷時)、スクリーンケースに内蔵されているリミッター調整用ボリューム(下図参照)によりご希望の停止位置に変更することができます。
(NTSC、WXGAタイプおよび80HD・120HDは最大500mmまで。100HDのみ最大400mmまで。)

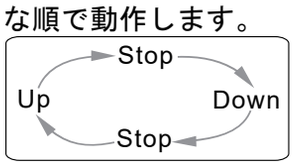
調整用ボリューム(上限専用)は、通常の設置時には調整しないでください。
下部パイプがケースに食い込んでしまいます。

調整用ボリューム(上限専用)は、工場出荷時に調整済みですので、このボリュームには触らないでください。

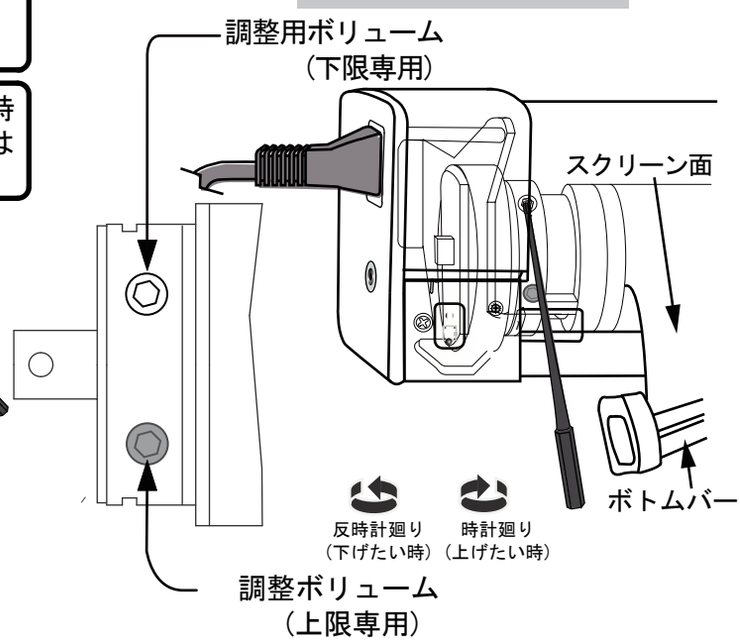
調整用ボリューム表示	
反時計廻り	＋表示側
時計廻り	－表示側



※マニュアルスイッチ
赤外線リモコンが使えない場合(紛失または電池切れなど)に使用するスイッチです。ボタンを押すと下記のような順で動作します。



左底面部(下から見た図)



スクリーン停止位置を下げたい場合

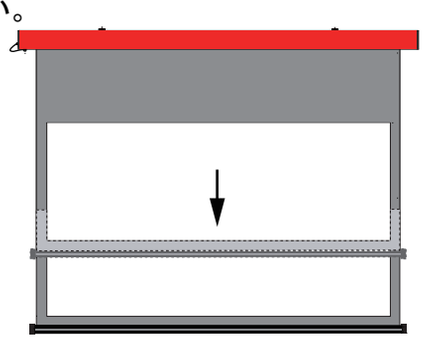
1. マニュアルスイッチのボタンをＤＯＷＮに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. 調整用ボリューム(下限専用)を反時計廻りへ付属の六角レンチでご希望の回数まわします。(ボリュームを１回転するとスクリーンは約35mmピッチで下がります。)
3. マニュアルスイッチをＤＯＷＮになるまで押し停止位置を確認してください。

スクリーン停止位置を上げたい場合

1. 調整用ボリューム(下限専用)を時計廻りへご希望の回数まわします。(１回転で約35mm上がります。)
2. マニュアルスイッチのボタンをＵＰに入れ、スクリーンを300～400mm上げます。
3. マニュアルスイッチのボタンをＤＯＷＮに入れ、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. ご希望の停止位置になるまで続けてください。

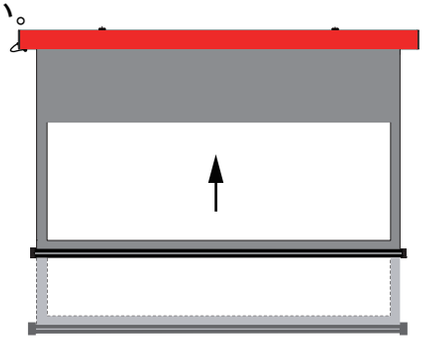
スクリーン停止位置が下がり過ぎた場合

「スクリーン停止位置を上げたい場合」をご参照ください。



スクリーン停止位置が上がり過ぎた場合

「スクリーン停止位置を下げたい場合」をご参照ください。



調整用ボリューム(上限専用)はＵＰリミッター調整用ですが、工場出荷時に調整済みです。みだりに調整用ボリュームを回しますと、下部パイプがケースの中に食い込んでしまい故障の原因となります。

２分以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが働きモーターは停止します。しばらく放置すると(２０分程度)、サーマルスイッチが解除になります。(故障ではありません。)

トラブル時の対処(SES)

修理に出す前に、もう一度以下の点検を実施してください。それでも修復できない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

① 本体コントロール部や外付赤外線受光器についての項目

症状	原因	対処
動作表示ランプが赤色(スタンバイ表示)に点灯してない。	本体コントロール部の電源コードが正しく接続されていない。	電源コードを確実に差し込んでください。(９ページ)
	本体コントロール部と外付赤外線受光器が接続されていない。	一旦、本体コントロール部の電源コードを抜いてからミニピンプラグを確実に差し込んでください。その後に再度電源コードを差し込んでください。(９ページ)
動作表示ランプが変わらない。	外付赤外線受光器に直射日光が当っている。	直射日光の当たらない場所に貼り付け位置を変更してください。(９ページ)
	外付赤外線受光器の近くにインバーター蛍光灯がある。	蛍光灯から１ｍ以上はなすか点灯させないようにしてください。もしくは「遮へい板」を作成し、取り付けしてください。(１１ページ)

② 赤外線リモコンについての項目

症状	原因	対処
赤外線リモコンが機能しない。	赤外線リモコンにリチウム型コイン式電池が入っていない。	⊕⊖の方向を確かめてからリチウム型コイン式電池を入れてください。(４ページ)
	電池が切れている。	新しいリチウム型コイン式電池と交換してください。(４ページ)
	操作範囲をはずれて操作している。	決められた操作範囲の中で使用してください。(１０ページ)

③ スクリーンの動作についての項目

症状	原因	対処
スクリーンがまったく動作しない。	本体コントロール部の電源コードや外付赤外線受光器のコードが接続されていない。	①項の対処方法に従っておのおののコードを接続してください。
	外付赤外線受光器に直射日光が当ったり、インバーター蛍光灯の近くにある。	①項の対処方法に従ってください。
	赤外線リモコンに問題がある。	②項の対処方法に従ってください。
	異常な電圧(静電気や雷)によって本体コントロール部が破損した。	ただちにお買い上げ店にお問い合わせください。
スクリーンが所定の位置で止まらない。	異常な電圧(静電気や雷)によって本体コントロール部が破損した。	同上

トラブル時の対処（壁スイッチ使用時（オプション））

修理に出す前に、もう一度以下の点検を実施してください。それでも修復できない場合は、お買店にお問い合わせください。

① 本体コントロール部についての項目

症状	原因	対処
動作表示ランプが赤色（スタンバイ表示）に点灯してない。	本体コントロール部の電源コードが正しく接続されていない。	電源コードを確実に差し込んでください。（１２ページ）
動作表示ランプが変わらない。	壁スイッチのコネクターやケーブルが正しく接続されていない。	確実に接続してください。（１２ページ）
	異常な電圧（静電気や雷）によって本体コントロール部が破損した。	ただちにお買い上げ店にお問い合わせください。

② 壁スイッチについての項目

症状	原因	対処
壁スイッチが機能しない。	本体コントロール部の電源コードが正しく接続されていない。	電源コードを確実に差し込んでください。（１２ページ）
	４ピンプラグ付ケーブルのジャックがコネクターに接続されていない。	本体コントロール部のコネクターへ確実に差し込んでください。（１２ページ）
	壁スイッチと４ピンプラグ付ケーブが正しく接続されていない。	線色を合わせて確実に結線されているか確認してください。（１２ページ）

③ スクリーンの動作についての項目

症状	原因	対処
スクリーンがまったく動作しない。	本体コントロール部の電源コードが接続されていない。	①項の対処方法に従ってコードを接続してください。
	壁スイッチに問題がある。	②項の対処方法に従ってください。
	異常な電圧（静電気や雷）によって本体コントロール部が破損した。	ただちにお買い上げ店にお問い合わせください。
スクリーンが所定の位置で止まらない。	異常な電圧（静電気や雷）によって本体コントロール部が破損した。	同上

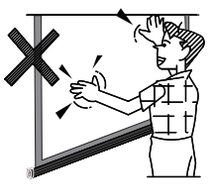
⚠ 注 意

スクリーン面は反射性能を強化するために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

● スクリーン面に手をふれないでください。

禁止



● スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。

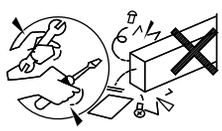
禁止

● ケースやスクリーンにぶら下がったり、掲示物をかけたりしないでください。破損の原因、落下してけがの原因となることがあります。

警告

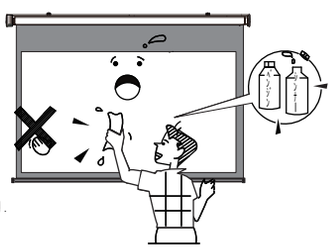
● ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げ店にご相談ください。

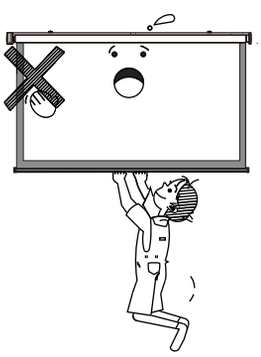
分解禁止



● 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質します。

禁止

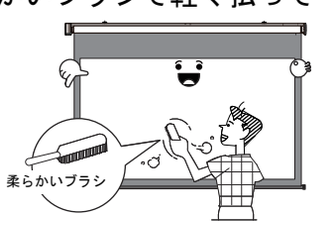




お手入れのしかた

● ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



保管についてのご注意

● 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。また、高温の車中への放置もさけてください。

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.

本　　社　〒１６１－００３３　東京都新宿区下落合３－１２－３５
TEL.03-3952-5131(代)　FAX.03-3953-0051
大阪営業所　〒５５０－００１４　大阪府大阪市西区北堀江１－５－２
四ツ橋新興産ビル100B号
TEL.06-6567-9035(代)　FAX.06-6567-9036
ｈｔｔｐ：//ｗｗｗ．ｋｉｋｕｃｈｉ－ｓｃｒｅｅｎ．ｃｏ．ｊｐ/
KIKUCHI SCIENCE.LAB 2022 6 SES A-OK_ RW